

中国新聞社・国連ユニタール主催
第82回 国連ユニタール公開セッション

戦後70年： 国連と広島を考える

終戦と広島への原爆投下から70年の節目を迎える今年最初の国連ユニタール公開セッションでは、広島出身で日本を代表する大島賢三氏をお招きし、これまで国連の第一線で活躍されてきた経験に基づく広い視点から国連の歩みと課題、そして広島への期待についてお話をうかがいます。

被爆70周年を迎えた広島において、世界平和を実現していくために、私たち広島県民・市民には何ができるのか、皆様と一緒に考えていく機会にしたいと思えます。

スピーカー（敬称略）

大島 賢三

（元国際連合事務次長、元国際連合政府代表部特命全権大使）

日時： 2015年2月21日（土）、14:00-15:30

場所： 中国新聞社 7F 702号室
（広島市中区土橋町7-1）

言語： 日本語

申込： 参加費は無料です。以下まで事前申し込みをお願いします。

E-mail (hiroshima@unitar.org)

TEL 082-511-2424

FAX 082-211-0511

HP www.unitar.org/hiroshima/ja



unitar

United Nations Institute for Training and Research

大島 賢三 氏



広島県広島市牛田出身。
広島大学附属高等学校、
東京大学法学部を経て外務省へ入省後、
外務省経済協力局局長、
総理府国際平和協力本部事務局長、
国際連合事務次長、
オーストラリア駐劬特命全権大使、
国際連合政府代表部特命全権大使、
(独)国際協力機構(JICA)副理事長、
国会東京電力福島原子力発電所事故調査委員、
原子力規制委員会委員などを歴任。

現在、放射線被曝者医療国際協力推進協議会(HICARE)
理事、広島大学学長特任補佐、アフリカ協会理事長を務める。



unitar

United Nations Institute for Training and Research